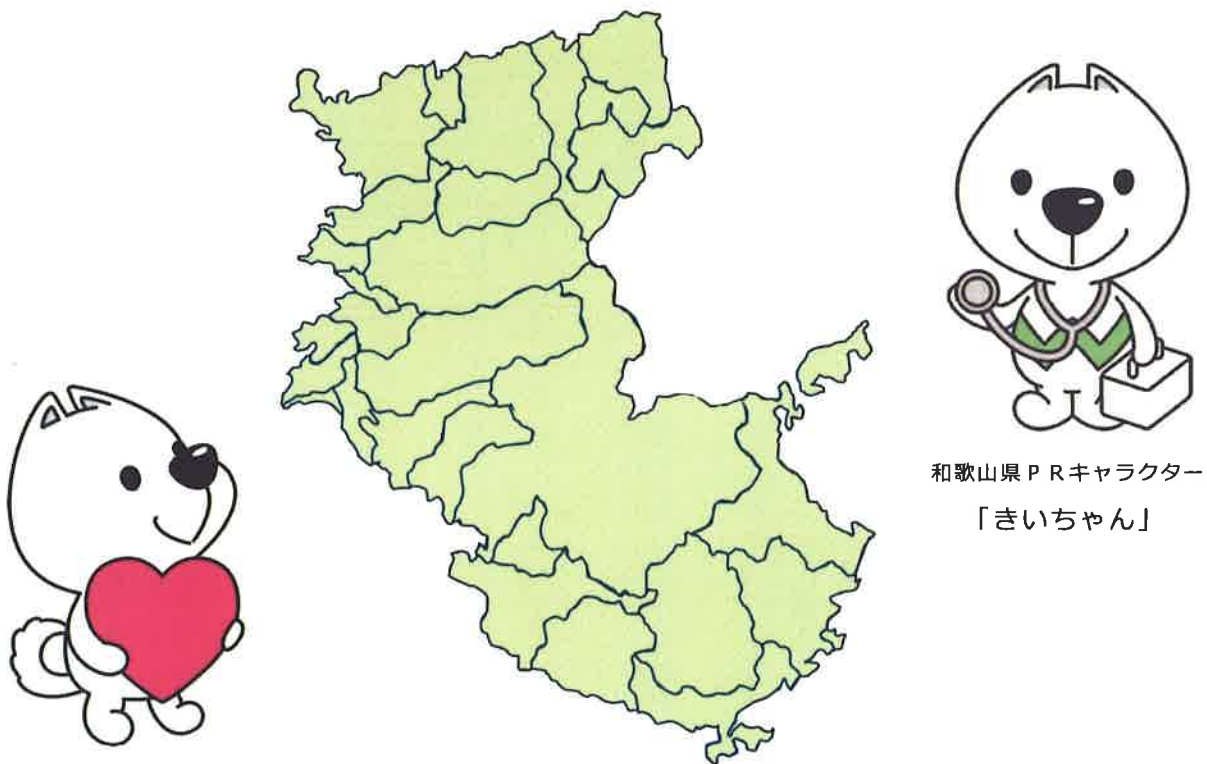


抜粋

和歌山県地域医療構想

～ 高度急性期、急性期、回復期、慢性期から在宅医療に至るまで
将来の医療需要に応じた質の高い医療提供体制の構築に向けて ～



平成 28 年 5 月
和歌山県

iv) 有田 圏域

有田圏域の現状と基本的事項

区 分		有田圏域	全 県
構成市町村数		1市3町	9市20町1村
面積(対全県比)		474.86km ² (10.1%)	4,724.68km ²
人 口	総人口(対全県比)	78,678人 (7.9%)	1,002,198人
	65歳未満人口	56,450人	728,005人
	65歳以上人口	22,228人	274,193人
	75歳以上人口	12,116人	140,780人

面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調（平成26年面積）」、人口は総務省「平成22年国勢調査」による

有田圏域における必要病床数等

医療機能	2025年における 医療需要(人/日)	2025年における 必要病床数(床)	【病床機能報告より】 2014年7月1日現在 の病床数 (床)
①高度急性期	0	0	0
②急性期	114	146	341
③回復期	133	148	94
④慢性期	185	(※P39参照) 201	263
小 計	432	495	698

主な医療機関位置図【有田 二次保健医療圏】



【 有田圏域における課題等と必要な施策等 】

（１）人口構造の変化の見通し

有田圏域内の総人口は今後減少の一途を辿ると推計される一方で、６５歳以上高齢者人口に関しては、２０２５年（平成３７年）に向けて増加していく見込みです。

（２）構想区域における現状と課題

◇医療提供体制・疾病構造・患者の受療動向等

- ・圏域内には５病院が所在し、急性期・回復期・慢性期機能を中心とした医療を担っている現状です。
- ・一般病床については、有田圏域に隣接している和歌山圏域等へのアクセスも比較的容易になっており、患者流出が多く見られる現状にあります。
- ・高度急性期医療に関しては、隣接する和歌山圏域（県立医大附属病院・日本赤十字社和歌山医療センターなど高度急性期機能を担う医療機関が所在する）に大勢を委ねている現状です。
- ・がん・急性心筋梗塞等の疾病に関しては、有田圏域から他の圏域の医療機関に患者流出が見られます。
- ・療養病床に関しては、隣接する御坊圏域から患者流入が見られます。

◇基幹病院までのアクセス

- ・圏域内の公的病院は有田市と有田郡にそれぞれあり、その他民間病院についても、圏域内人口が集中する地域で、国道４２号線沿線やＪＲ沿線などに立地しています。
- ・近年は、阪和自動車道の４車線化等によって他圏域間のアクセス等も容易となっています。また、国道４２号バイパス・有田海南道路をはじめとした道路整備等が進めば、患者流出入の状況にさらに変化があることも推測されます。

◇在宅医療等に係る状況

- ・有田市医師会、有田医師会に「在宅医療サポートセンター」が平成２８

年４月に設置されたところです。

- ・市町村等により設置する「在宅医療推進協議会」に関しては、有田市では単体での設置に向けて取組が行われています。また、有田郡内各町においても、有田川町を中心に関係者による協議・取組が行われている状況です。

◇ ２０１４年度（平成２６年度）以降の状況変化と今後の見込み

- ・圏域内において急性期医療等の中心を担う公立病院・公的病院においては、２０１４年度以降に医師配置等の体制整備を強化しているところです。

（３）２０２５年（平成３７年）における主要な医療提供体制について

- ・高度急性期病床に関しては、現状の医療提供体制から、隣接する和歌山圏域に引き続き、今後も委ねることとしています。
- ・慢性期病床に関しては、慢性期病床の減少率が４０．２％と全国の中央地３２．２％より８ポイント高く、また、高齢者単身世帯割合についても１２．０％で全国平均９．２％に比較して２．８ポイント高い状況です。構想策定にあたり国の特例要件に該当していることから、達成年度を２０２５年度から５年間延長することとします。必要病床数（１８５床）へと計画的な削減に取り組んでいく必要があります。

（４）地域医療構想の実現に向けて必要となる施策等

- ・回復期病床が圏域において不足している現状にあるため、回復期機能を担う病床機能を今後、充実させていく必要があります。
- ・有田圏域では、療養病床に係る入院受療率が県内７圏域の中で最も高い状況にあり地域差解消にあたっての目標設定もより厳しくなることから、在宅医療等に係る充実、介護老人保健施設などの介護施設に係る整備を一体的に進めていく必要があります。
- ・山間地を抱える圏域であり、今後高齢化が進む中で、へき地等（特に有田川町清水地区）を含めた在宅医療をどのようにして提供していくのかも課題となります。
- ・医師、看護師等をはじめとした医療従事者の確保も課題です。